

## 「マットあそび」

ワクワクする授業を作ろう  
～楽しいと感じる場면을授業  
にちりばめて～

本単元で育成する資質・能力

主体性・自己有用感・説明力 令和5年12月1日（金）6校時

## 1 単元のデザイン

## 【単元観】

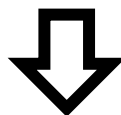
本単元は、小学校学習指導要領解説体育編【B 器械・器具を使つての運動遊び】に示されているように、器械・器具を使つての運動遊びについて次の事項を身に付けることができるように設定されている。

- (1) 器械・器具を使つての運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。  
イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。
- (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

## 【児童観】

本学年に6月実施したアンケートによると、「体育が楽しい」という児童が90%と高く、日頃の体育の授業も意欲的に活動している。特に、自分達で話し合いながらコースを作ったり、教え合いをしたりすること、自分の習熟度にあつた技を選びながら達成感を味わっていくことに楽しさを感じている傾向にある。

一方で体育は楽しいが苦手意識がある児童や、安全のきまりを守ることが難しい児童がいる。



## 【指導観】

## ① 児童が提示された選択肢から、自己決定する場の設定

- ・三つのコースと三つの遊び方の組み合わせを考え、遊園地を組み立てていく場面。

「特に配慮が必要な児童への手立て」

- 文章で内容を捉えることが難しい児童も視覚的に場の様子が捉えることができるように、単元を通して、表やコーンの色などで場の様子を示すようにする。
- 運動が苦手な児童も楽しく運動をすることができるように、全員が取り組む技を回転系の容易な技（遊び方）の3つに絞る。

## ② 対話的な学びの場の設定

- ・グループ内で話し合いながらコースを作る場面。
- ・自分たちが作ったアトラクションを全体で発表することを通して、楽しい遊び方を共有する場面。

「特に配慮が必要な児童への手立て」

- グループでマット遊園地のコーナーを作る場面において、たくさんの組み合わせを試しながら活動することができるように、コーンで場の設定を簡単に変更することができるようにする。
- 必然的に対話し活動することができるように、コースの選択肢を3つに絞り、場の設定を容易にしたり、対話の中で出た考えをすぐに試行するように声掛けをしたりする。

## 2 単元の目標

| 知識及び技能   | 思考力、判断力、表現力等  | 学びに向かう力、人間性等  |
|--|---|---|
| マットを使った運動の楽しさに触れ、いろいろな方向への転がり方を知り、その動きを身に付けることができるようにする。 | マットを使った簡単な遊び方を、場に応じて選択しながら工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 | マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り、誰とでも仲良く運動をしたり、器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 |

## 3 単元の評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現                                   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---|--|---|
| ①マット遊びの楽しさに触れながら、遊び方について言ったり書いたりしている。<br>②マットの上で転がったり回転したりして遊ぶことができる。 | ①マットを用いた簡単な遊び方を工夫している。<br>②考えたことを友達に伝えている。 | ①マットあそびに進んで取り組もうとしている。<br>②誰とでも仲良く遊ぼうとしている。<br>③安全に配慮して周りを見ながら活動している。 |

## 4 単元の学習計画 (全4時間)

| 時 | 学習内容  | 評価  |     |     |  | 個別最適な学びを実現するための手立て  |
|---|---|-----|-----|-----|--|---|
|   |   | 知・技 | 思判表 | 主体的 | 評価規準 (評価方法)  |   |
| 1 | 安全なマットあそびの方法について考え、マットで遊ぶことを通して学習の見通しを持つ。                 | ①   |     | ②   | マット遊びの楽しさに触れながら、遊び方について言ったり書いたりしている。(ワークシート・行動観察)<br>誰とでも仲良く遊ぼうとしている。(行動観察・ワークシート) | ◎選択肢を示し、自己決定させる手立て<br>●特に配慮の必要な児童生徒への手立て  |
| 2 | 3つのコース(ゆっくり進む・坂道を進む・障害物をよけながら進む)で遊び方(前回り・後ろ回り・丸太回り)に取り組む。 |     | ②   | ①   | 考えたことを友達に伝えている。(ワークシート・行動観察)<br>マットあそびに進んで取り組もうとしている。(行動観察)                        | ◎自分が楽しく挑戦することができるように、3つのコースと3つの遊び方を提示し、自分が考えた組み合わせを友達に伝えることができるようにする。<br>●視覚的に理解することができるように、マットに印をつけて手をつくところがわかるようにしたり、教科書を拡大コピーしたものを各ブースに貼りつけたりしておく。 |

|           |  |   |   |   |  |   |
|-----------|--|---|---|---|--|---|
| 3<br>(本時) | 3つのコースと遊び方の組み合わせを考え、試しながら、グループでマット遊園地のコーナーを作る。 |   | ① | ③ | マットを用いた簡単な遊び方を工夫している。か(行動観察・ワークシート)<br>安全に配慮して周りを見ながら活動している。(行動観察) | ◎児童が自分たちで考え、学習を進めることができるように、選択肢を表にまとめ、示す。<br>●ほかの児童の感想や楽しいと思った遊び方を共有することで、友だちの意見を参考にしながら遊び方を考えることができるようにする。 |
| 4         | 各グループで作ったマット遊園地で遊ぶ。                            | ② |   |   | マットの上で転がったり回転したりして遊ぶことができる。(行動観察・ワークシート)                           |   |

## 5 本時の展開 (3/4 時間目)

### (1) 本時の目標

3つのコースと遊び方の組み合わせを考え、試しながら、グループでマット遊園地のコーナーを作ることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

安全に配慮して周りを見ながら活動することができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

### (2) 本時の評価規準

マットを用いた簡単な遊び方を工夫している。(思考・判断・表現)

安全に配慮して周りを見ながら活動している。(主体的に学習に取り組む態度)

### (3) 準備物

マット、カラーコーン、ロイター板、組み合わせ表、ホワイトボード、磁石、ワークシート

### 本時の展開

| 時間  | 学習活動   | 指導上の留意事項   | 【観点】評価規準<br>(方法) |
|-----|--|--|------------------|
|     | T : 主な発問・指示<br>C : 予想される児童生徒の反応  | ○指導上の留意事項<br>●特に配慮が必要な児童生徒への手立て  |                  |
| 10分 | ○準備体操<br>・じゃんけん1周 (1分)<br>・ぶらぶらじゃんけん (3回)<br>・首のあっちむいてほい (4回勝負)<br><br>○前時の振り返り<br><br>○めあての設定<br><br>遊び方とコースの組み合わせを考えながら、楽しいマット遊園地のコーナーを作る。 | ○器械体操的な準備体操ではなく、マットの学習で使う部位をしっかりとほぐすことができるような遊び的な要素を入れた準備体操にする。<br><br>○活動の時間を十分に確保するために、前時の振り返りは簡潔なものにする。 |                  |

|     |  |  |  |
|-----|--|--|--|
|     | <p>○注意事項や使う道具についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット遊びのルールを守る。</li> <li>①決まった道を進む。</li> <li>②1つのコーナーに一人まで。</li> <li>③順番を守る。</li> <li>・みんなが楽しめるアトラクションにすること。</li> <li>・遊び方(前回り、後ろ回り、鉛筆転がり)コース(ゆっくり、坂道、よける)は1回ずつ使う。</li> </ul> | <p>○児童たちが考えた、安全に活動するためのルールを確認してから活動を始める。</p>   |  |
| 25分 | <p>○3人ずつのグループに分かれてコーナーを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作る(10分)</li> </ul> <p>C: どのコースにどのあそび方をもってきたらいいかな。</p> <p>C: 順番はどうしようかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共有(5分)</li> <li>・作る(10分)</li> </ul>               | <p>○いろいろな組み合わせを試しながら活動することができるように、組み合わせ表を各グループに配布し、表を埋めながら活動するようにする。</p> <p>○遊び方によって、適した場面があるということを実感することができるように、なぜその組み合わせにしたかを把握しておき、全体で共有する。</p> <p>●できない遊び方があることにより学習意欲を落とすことがないように、選択肢にある遊び方は要素を絞ったうえで、なるべく容易なものにする。</p> | <p>【主体的】安全に配慮して周りを見ながら活動している。(行動観察)</p> <p>【思・判・表】マットを用いた簡単な遊び方を工夫している。(行動観察・ワークシート)</p> |
| 10分 | <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな組み合わせを試しながら、考えることができましたか。</li> <li>・ルールを守って活動することができましたか。</li> <li>・楽しみながら活動することができましたか。</li> </ul> <p>○次回予告</p> <p>○片づけ</p>   | <p>●文章を書くことが難しい児童も視点をもって振り返りをすることができるように、ワークシートに振り返りの項目を記載し、◎・○・△で記入するようにする。</p>   |  |